

高齢化と少子化

**Q** 老人クラブは昭和37年から連合会が組織され、50年近くになる。当初は自主的に組織された仲間が大勢おり、各自治会ごとに老人クラブがあった。年齢的な他、健康、後継者がいない、リーダーの不足などの問題から、年々クラブが減少している。連合会としては、これから老人クラブを増やすべく活動したいと考えているが、まったく組織されていらない自治会について、どのように働きかけて良いか困っている。そこで行政に自治会長会議などをおして、連合会と自治会の橋渡しをしていただきたい。集落の要望で自治会に説明にいきたいと考えている。

**A** 役員が回ってくると辞めてしまう方が多く、会そのものの存続が厳しくなっていると伺っています。自治会長、老人クラブのご協力をいただけるのであれば、行政としても一緒に考えています。担当課と協議し取り組みたいと考えています。

**Q** 学校適正配置について、上町自治会は石橋駅前を境として石橋小学校と古山小学校に分かれるような答申内容の説明があった。なぜ、上町自治会だけが駅前通りを境に区分されるようになったのか。

**A** 市内の小学校では通学区域が決められています。上町地区だけが石橋小学校でも古山小学校でも良いという取扱いになっています。答申では児童の機会均等という視点から通学区域を決める内容になっています。

**Q** 細谷小の統合はどのようにすすんでいるか。

**A** 昨年10月に学校適正配置の答申が出ました。これまでに議会や自治会、PTAの代表の方に向けて答申の内容の説明を行わせていただきました。細谷小学校についても本年3月にPTAの方に答申の内容を説明させていただきました。平成24年度については市内で12回にわたって自治会、育成会と懇談会という形で意見交換させていただきたいと考えており、統合について具体的な動きが出ている段階ではございません。

東日本大震災を経験して・・・

**Q** 災害を想定したシミュレーションやマニュアルあるのか。

**A** 昨年の震災を受けて、現在市の地域防災計画を修正しています。防災マニュアルも同じく修正しています。職員全員が防災マニュアルを常に携帯しており、その災害に応じてどのように職員が行動するか記載しています。

**Q** 災害時に民生委員本人が被災した場合に、その地区の障がい者、高齢者をどのように支え合えばよいのか。私は地元で民生委員の顔を知らない。自治会などの協力を強めていただきたい。

**A** 民生委員には高齢者、障がい者などに地域での誘導の経路、避難場所を伝えるよう依頼しています。また、民生委員自身が被害を受けた場合には、自治会及びNPOなどの団体の協力を得ながら地域で支え合うように、つながりの「輪」を作ってくださいということをお願いをしています。

**Q** 下野市は被災し困った方にどういった施策、支援を行っているのか。

**A** 下野市でも一人犠牲になった方がいます。その方の出身が宮城県亶理町であったことから、亶理町応援団を組織しました。現地での泥出し作業、4月には花見へ招待、7月には仮設住宅を訪問し、花見に来ていただいた方の様子を伺ってきました。仮設住宅にはまだ3,000人あまりの方が住まわれています。今月の日曜日(10月28日)には仮設住宅に伺いカラオケ大会を開こう、ということ企画しています。参加者には地元農家の協力を得て、地元産の新米をプレゼントします。こういった市を挙げて支援していこうと取り組んでおり、今後も継続していきたいと考えています。(H24・12月号24ページに実施の様子の記事が掲載されています。)

10月29日には福島から避難されている方120名と友愛館で食事をし、意見交換会を行うことになっています。避難されている方々にも市民と同じように施策が受けられるよう、また上下水道料金の減免等も継続していく考えです。われわれができることは、応援に行くことやお話をし交友を深めること、また一番は「忘れない」ことだと思います。さらにもっと結びつきを深めたいと思います。